2023年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査

(第9回 8月下旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門 (植田) TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

〇カタクチイワシ卵の出現状況

卵の出現数は前年より多く、平年より少なかった。

前年	2022年8月19日	(7点の平均)	1.6	個/m³	
前回	2023年8月2日	(7点の平均)	16.8	個/m³	
今回	2023年8月24日	(7点の平均)	3.7	個/m³	
		※8月下旬の平年値	15.7	個/m³	

〇カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚の出現数は前年及び平年より少なかった。

前年	2022年8月19日	(7点の平均)	1.1 尾/m ³
前回	2023年8月2日	(7点の平均)	2.9 尾/m ³
今回	2023年8月24日	(7点の平均)	0.1 尾/m ³
		※8月下旬の平年値	3.7 尾/m ³

〇プランクトン調査

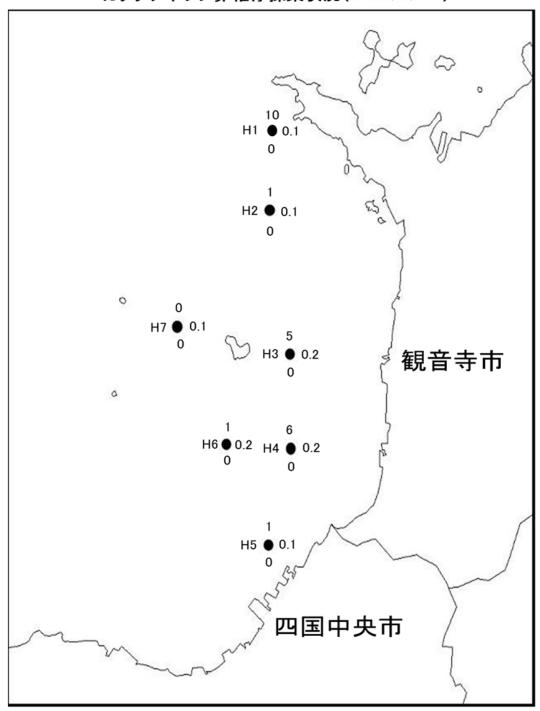
すべての定点でカタクチイワシの餌となるカイアシ類が優占した。 カイアシ類量は前年及び平年より少なかった。

〇カブトクラゲ調査

カブトクラゲの出現はなかった。

次回の調査は8月31日(木)に実施予定

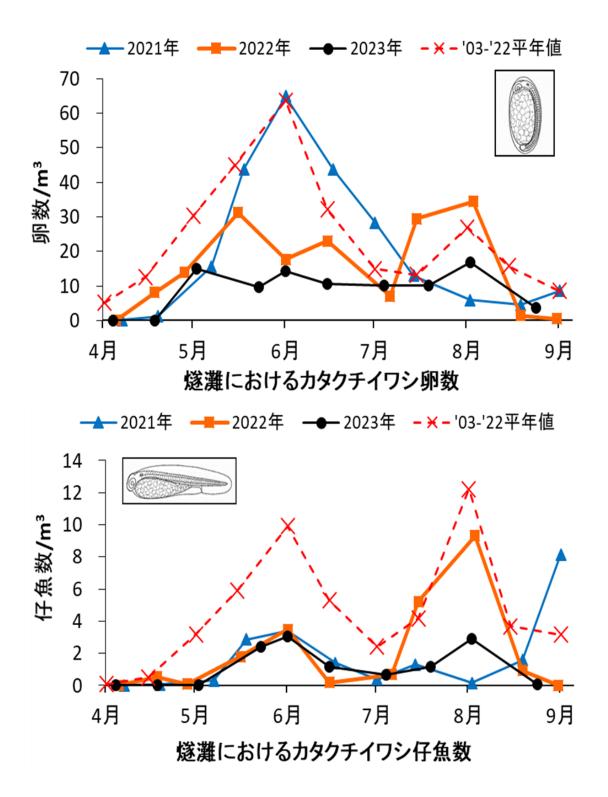
カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2023/8/24)

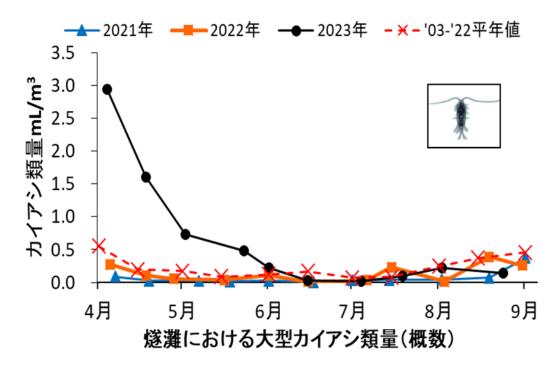


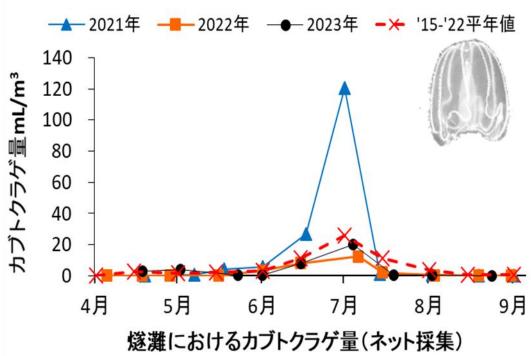
●の上側がカタクチイワシ卵密度(卵数/㎡)を, 下側がカタクチイワシ仔魚密度(仔魚数/㎡)を, 右側がカイアシ類密度(カイアシ類量ml/㎡)を示す。 21 ← 卵密度 凡例 ● 0.6← ^{カイアシ類} 密度 5 ← 仔魚密度

※カイアシ類量は、プランクトン採集量(0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

※卵稚仔数は小数点以下第一位を四捨五入した値。







※カイアシ類量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。 ※カブトクラゲは、丸特 B ネットによる全定点の平均採集量。

※この報告の情報により不利益等が発生した場合において、水産試験場は何ら責任は負いません。

2023 年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(9回目)

調査日: 2023/8/24

- 調宜口	ZUZ3/ 0/	<u> </u>						
S T	曳網水深 (m)	表層水温 (℃)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ仔魚	マイワシ仔魚	その他稚仔
H1	20	28.9	40	0	0	0	0	0
H2	20	28.9	4	0	0	0	0	0
нз	20	28.6	21	0	0	0	0	0
Н4	20	29.5	24	0	0	0	0	0
Н5	20	28.6	5	0	0	1	0	0
Н6	20	28.8	6	0	0	0	0	0
Н7	20	29.1	1	0	1	1	0	0
平均		28.9	14	0	0	0	0	0

[※]卵稚仔数は採集数を示す。